

Tokyo

Remote
Session!

Osaka

リモートセッションはじめました!

コンテナ・システム運用自動化 セッション

今後のITインフラは、DX推進を考える上で、迅速性を備えたアプリケーション実行環境が必要となります。またIT業界全体の課題では、IT人材の不足が懸念されます。KEL Briefing Center (KBC) では、DX推進の切り口から、コンテナ環境や運用自動化を検討されているお客様向けに、実践的なワークショップを通じ、検討すべき課題/ソリューションをご紹介します。

KBC Solution Showcase ~コンテナ・システム運用自動化セッション~

I. ゼネラルセッション (20分)

「DX推進のためのITインフラとは」

DX推進のためのITインフラの在り方を、今後直面する課題や背景を重ねてコンテナ環境や自動化運用の必要性をご説明致します。

II. コンテナソリューションの紹介 (90分)

「攻めのDXに必要なITインフラとは」

II-①: コンテナ基礎編(60分)

攻めのDXに必要なITインフラとして、ビジネスの機会を逃さないため、迅速性にフォーカスしコンテナ、オーケストレーション、企業向けコンテナ製品の入門的な内容をデモを交えながらご説明致します。

II-②: コンテナ活用編(30分)

コンテナ環境を活用した、アプリケーションの開発・運用手法をご説明致します。

III. 運用自動化ソリューションの紹介 (60分)

「守りのDXに必要なITインフラとは」

守りのDXに必要なITインフラとしての運用自動化に取り組むにあたり、陥りやすい課題と自動化のあるべき姿をご説明致します。また、自動化を実現するための製品としてAnsible Automationの特徴についてデモを交えながらご説明致します。

IV. まとめ、Q&A、ディスカッション

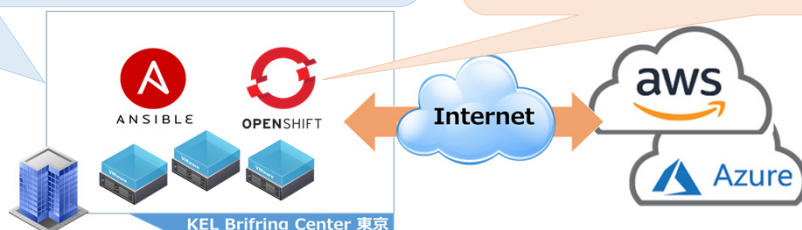
デモ環境

■運用自動化デモ

物理スイッチ、仮想サーバ、クラウド環境など幅広いレイヤーの自動運用をAnsibleにて実演致します。

■コンテナデモ

Docker、Kubernetes、OpenShiftといった主要なコンテナツールの利点を実演致します。



ビジネス課題の解決を支援



アプリケーション実行環境において開発環境と本番環境が違うため新機能を追加しても提供までに時間がかかる。



DRの観点でマルチクラウドを利用したいが異なるクラウド基盤でアプリケーションが稼働するか心配。



新しいIT技術や新ソリューションを取り入れたいがIT人材の確保ができない、IT人材が枯渇している。



オンプレミス/パブリッククラウド、いずれの環境も統一して運用自動化したい。

コンテナ環境や自動化運用環境を自社のIT基盤に組み込むことを検討されているお客様、実際の導入にあたって、どのようなポイントに留意すべきかお悩みではありませんか？

コンテナ環境や自動運用をどのようなステップで導入、活用すべきなのか等の様々なお悩みや課題への取り組みについてご支援致します。

ご来社不要！リモート接続



お客様

オフィス、ご自宅…etc



WEB
会議



どこからでも
セッションにご参加！

Tokyo



Osaka

兼松エレクトロニクス株式会社
東京本社

〒104-8338 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル



兼松エレクトロニクス株式会社
大阪支社

〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル

